

玉川上水・野の花だより No. 24

ネジバナ

中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 7月4日

大山緑道では、4月3日に近隣の保育園の子どもたちや区民の皆さまと植えた野の花が、すくすくと育っています。オミナエシ、フジバカマは、約60～80cmにもなりました。7月2日、渋谷区土木部、土木事務所の皆さんと、秋の七草のススキ、ワレモコウ、キキョウの補植を行いました。

その中で、目立たない花ですが、ネジバナが開花しました。名前の通り、小さな桃色の花が、螺旋状に咲きます。別名を「もじずり」といい、花言葉は「思慕」。百人一首にもある、源融の歌の中で詠まれています。

陸奥（みちのく）のしのぶもちずり誰ゆゑに 乱れそめにし我ならなくに
源融（みなもとのとおる、河原左大臣）

みちのくという遠い世界の風景と、身近に実在する小さな花の美しさが重層し、奥深い世界へと人をいざないます。

ネジバナは、6月ごろになると明るい芝生や草地に姿を現します。一つ一つの花は5mm位ですが、蘭（らん）の花で高貴な姿です。木漏れ日のさす草地があれば、生育が可能です。渋谷区の玉川上水には35もの橋がありますが、どこででも巡り合えると、いいですね。



ネジバナ 2026年7月2日 小さな蘭（らん）の花の集まり